

宇陀市立病院の経営継続における強力な制度的・財政的支援を求める意見書

奈良県東部地域に位置する宇陀市、山添村、曽爾村および御杖村は、全域が過疎地域の指定を受けた中山間地域であり、各市村のへき地診療所（計 7 か所）と、それらを支援する宇陀市立病院が密接に連携し、地域医療の維持に努めてまいりました。宇陀市立病院は、過疎・山間部を抱える広域医療圏（宇陀市、山添村、曽爾村、御杖村および東吉野村）の中核病院として、一次・二次救急医療、巡回診療、へき地診療所への医師派遣、訪問診療など、公的医療機関でなければ対応困難な不採算・政策医療を一身に担っています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症流行後の入院患者数の低迷に加え、急激な物価高騰や人件費・委託費・医療資材費の上昇が押し寄せ、経営環境はかつてない危機的状況に瀕しております。また、深刻な医師・看護師不足、医師の働き方改革への対応、医療機器の更新遅延など、地方の自治体病院およびへき地診療所が単独の経営努力のみで持続可能な医療体制を維持することは極限に達しています。過疎・山間地域に居住する住民が、将来にわたり安心して暮らし続けられる医療提供体制を維持するためには、国の強力な制度的・財政的支援が不可欠であります。

よって、下記事項の速やかな実現を強く求めるものです。

記

- 一、自治体病院およびへき地診療所の経営安定化を図るため、物価高騰や人件費増等の影響を適切に反映した診療報酬改定を行うとともに、継続的な補正予算措置や財政支援を拡充すること。
- 一、小児医療、救急医療、へき地医療など自治体病院が担う不採算・政策医療について十分配慮し、特別交付税措置をはじめとする財政措置を大幅に強化すること。
- 一、医師の地域偏在・診療科偏在・都市部集中を解消するため、地方・へき地への医師確保・定着に向けた実効性のある総合対策を講じ、定期的な効果検証と見直しを行うこと。
- 一、医療従事者の負担軽減および働き方改革を推進するため、タスク・シフト／シェアの促進、移動診療車（巡回診療）の活用・要件緩和、ICT導入等の業務効率化に対する財政支援を拡充すること。

- 一、医師・看護職員の離職防止と人材確保に向け、仕事と子育て・介護の両立支援や勤務環境改善に対する積極的な助成を行うこと。
- 一、地域医療構想の推進にあたっては、過疎・山間部等における地域特有の事情を十分考慮し、一律な病床削減等ではなく持続可能な医療提供体制の構築に向けた総合支援を行うこと。
- 一、頻発する大規模自然災害に備え、へき地・山間部の医療機関における地震・風水害・雪害等の防災対策・インフラ維持への支援を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和8年9月25日

衆議院議長	様
参議院議長	様
内閣総理大臣	様
総務大臣	様
財務大臣	様
厚生労働大臣	様

奈良県宇陀市議会